

# スパイラルバッフル板 概要

## SPIRAL BAFFLE BOARDS

# スパイラルバッフル板

—セパレートタイプ/ストレートタイプ—

### ■スパイラルバッフル板の特長

- 冷却水を螺旋状に流すことにより、冷却水がコアに接触する機会が増加するので、通常のバッフル板と比較して冷却効率が高くなります。
- プラスチック製ですので、錆が発生せず、冷却穴が詰まりにくくなります。
- 切断可能ですので、冷却穴に合わせて長さや先端形状の調節も容易です。また、ガラス繊維入りですので折損しにくくなっています。
- (引張強度約490N/mm<sup>2</sup> [50kgf/mm<sup>2</sup>])

### ■ご利用上の注意点

上記の取付穴加工例にある推奨寸法通り取り付けていただいても、水漏れが発生する場合があります。

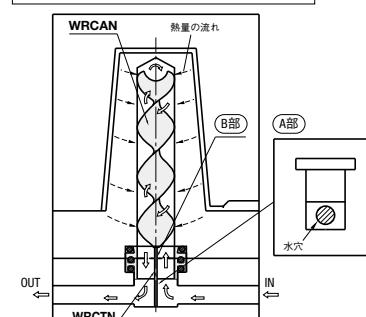
原因としては、以下の点が考えられます。

- 取付部のプレートのゆがみ
- 取付部のプレートの固定位置とスパイラルバッフル板との距離が遠い(押さえる力が減少する)
- Oリングのバラツキ

このような場合には、固定箇所を増やす、設置場所の外周をOリング等でシーリングする、取付穴部を推奨値より浅めに加工し、追加工にて調整するなどを行ってください。

### ■スパイラルバッフル板の使用例

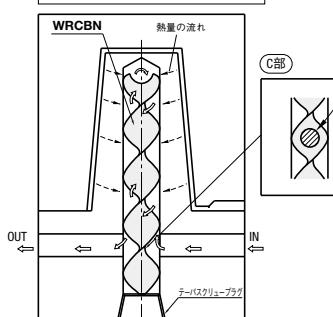
#### セパレートタイプ(WRCAN/WRCTN)



- WRCTNの仕切部を冷却穴に対して直角方向に取り付けてください。(A部参照)
- WRCANの仕切部とWRCTNの仕切部を同一方向に取り付けてください。(B部参照)

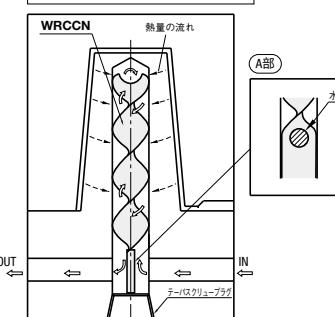
※冷却水に対して直角方向にならないと冷却効果が減少します。

#### ストレートタイプ(WRCBN)



- WRCBNを冷却水に対して直角方向に取り付けてください。(A部参照)
- WRCTNの板部分(A部)を冷却水に対して直角方向に取り付けてください。(C部参照)

#### ストレートタイプ(WRCCN)

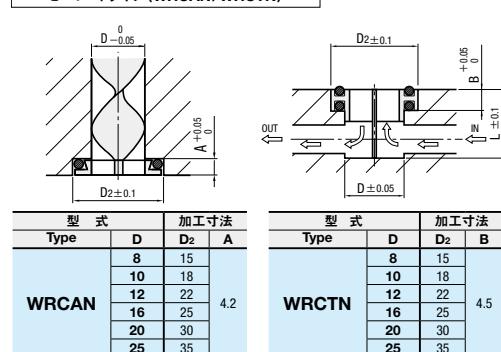


- WRCCNの板部分(A部)を冷却水に対して直角方向に取り付けてください。(A部参照)

※冷却水に対して直角方向にならないと冷却効果が減少します。

### ■取付穴加工例(推奨値)

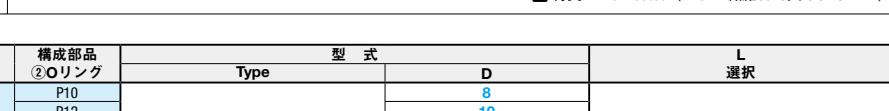
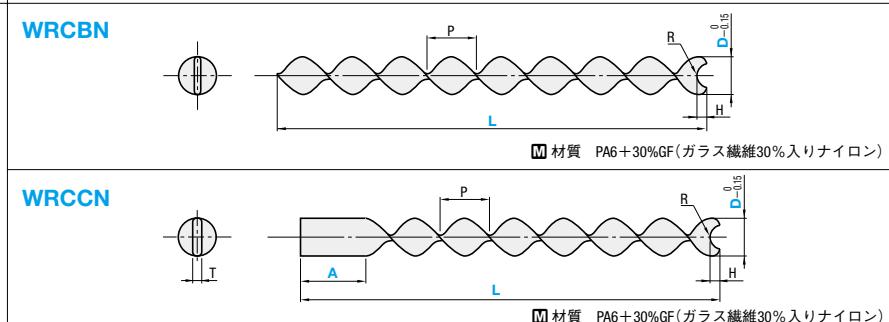
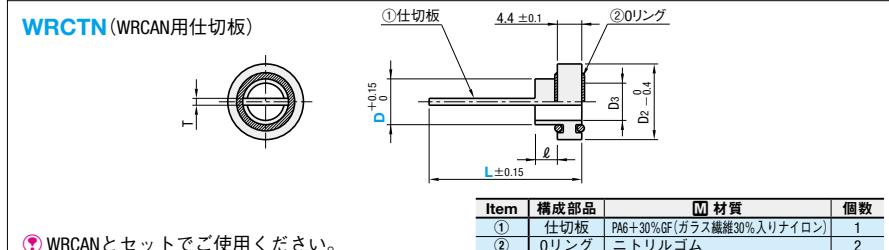
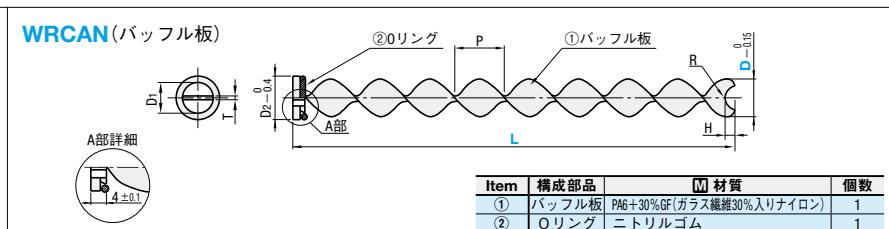
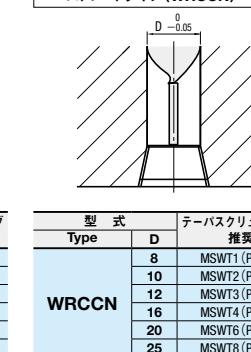
#### セパレートタイプ(WRCAN/WRCTN)



#### ストレートタイプ(WRCBN)



#### ストレートタイプ(WRCCN)



#### ■セパレートタイプ

D <sub>1</sub>	D <sub>2</sub>	T	R	H	P	構成部品 ②Oリング	型式 Type	D	L 選択
8	15	1.5	2	2	20	P10	WRCAN (バッフル板)	8	100 200 300
10	18	1.8	2.5	2.5		P12		10	
11	22	2	3	3		P16		12	
15	25	3	4	4		P20		16	
18	30	3	5	5		AS119		20	
25	35	3.5	6	6	25	AS121	25	100 200 300 400	

D <sub>3</sub>	D <sub>2</sub>	T	ℓ	構成部品 ②Oリング	型式 Type	D	L 選択
6	15	1.2	4.1	P8	WRCTN (仕切板)	8	25 30 35 40
8	18	1.5		P10		10	
10	22	1.6		P12		12	
13	25	2		P16		16	
17	30	2.4		P20		20	
22	35	2.4	6.0	AS119		25	

#### ■ストレートタイプ

R	H	P	型式 Type	D	L 選択
2	2	20	WRCBN	8	96 196 296
2.5	2.5			10	
3	3			12	
4	4			16	
5	5			20	
6	6	25	WRCCN	25	96 196 296 396
1.5	2	2		8	
1.8	2.5	2.5		10	
2	3	3		12	
3	4	4		16	
3.5	5	5	WRCCN	20	100 200 300 400
6	6	6		25	

※水温80°C以下でご使用ください。



型式  
— L — A  
WRCAN 16 — 200 — A42  
WRCCN 20 — 100 — A42



Delivery  
出荷日  
在庫品